



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社
 コード番号 6625 URL <https://www.jalco-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 鈴木 英一
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 050-5536-9824

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,064	17.1	1,232	41.8	795	54.2	788	1.1
2021年3月期第3四半期	1,762	38.9	869	17.0	515	19.6	797	110.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 785百万円 (1.7%) 2021年3月期第3四半期 799百万円 (111.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	7.29	7.05
2021年3月期第3四半期	8.77	7.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	42,285	14,060	33.1	131.15
2021年3月期	36,495	13,880	37.9	126.99

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 14,014百万円 2021年3月期 13,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		2.00	2.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	3.1	1,800	41.4	1,170	47.4	1,170	10.2	10.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社SUNTAC
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	112,541,318 株	2021年3月期	111,510,518 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	5,683,148 株	2021年3月期	2,625,848 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	108,111,984 株	2021年3月期3Q	90,904,411 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前連結会計年度に商業施設5物件、アミューズメント施設4物件、計9物件を取得したことに加えて商業施設3物件、アミューズメント施設4物件を当第3四半期累計期間において取得したことが寄与し、売上高20億64百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益12億32百万円（前年同期比41.8%増）、経常利益7億95百万円（前年同期比54.2%増）と経常利益までは前年同期比を上回る結果となりましたが、法人税等調整額の影響により親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億88百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりでございます。

(貸金事業)

当事業部門におきましては、収益性及び担保価値等を十二分に吟味し、回収可能性等を慎重に検討した上で取り組んでおります。貸付期間については、1年以内の短期の貸付を中心に行っているため、期中における貸付金の返済に伴い営業貸付金が大きく減少することがあります。

当第3四半期連結累計期間において営業貸付金は、新規貸付77億73百万円、回収49億35百万円により61億26百万円（前期末比86.4%増）となりました。当事業部門における売上高は、4億3百万円（前年同期比91.5%増）、セグメント利益は3億30百万円（前年同期比126.7%増）という結果となりました。

第4四半期以降におきましても、収益性及び担保価値等が十二分に見込める複数の貸付先において、資金需要が旺盛にあるため、ソーシャルレンディング事業も絡めて、当事業部門の収益及び利益の増加に努めてまいります。

(不動産賃貸事業)

当事業部門におきましては、当第3四半期連結累計期間に新たな収益不動産を7物件取得し、収益不動産の保有残高は317億47百万円（前期末比13.4%増）となりました。前連結会計年度の2021年3月に取得した物件も寄与し、当第3四半期連結累計期間において、売上高は15億98百万円（前年同期比23.1%増）、セグメント利益は5億96百万円（前年同期比31.9%増）となりました。

当社としては引き続き、長期・安定的な収益貢献が見込める案件については積極的に購入してまいります。当社の収益不動産については、収益性の観点から購入依頼のご要望も多いことから、保有資産残高、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を考慮しながら、将来的には収益不動産の入れ替えも図ってまいります。

また、現在、売上高及び利益の増加に繋がる物流施設用不動産等の開発案件も手掛けており、今後の収益の増加に繋がる営業活動も行っております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して21億64百万円増加し、97億6百万円となりました。これは主に、株式会社SUNTACを連結範囲から除外したことにより受取手形及び売掛金が3億7百万円、商品及び製品が1億51百万円、借入金の返済、新規不動産取得の決済等から現金及び預金が6億32百万円減少し、一方で新規貸付により営業貸付金が28億39百万円、仕掛販売用不動産が4億48百万円が増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して36億27百万円増加し325億78百万円となりました。これは主に、秋田県秋田市、横浜市及び湯沢市、千葉県市原市、群馬県藤岡市の新規不動産取得等により有形固定資産が36億44百万円、特許権の取得等により無形固定資産が1億3百万円増加し、一方で繰越欠損金が解消することにより繰延税金資産が1億37百万円減少したことなどによります。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して57億89百万円増加し422億85百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して9億64百万円増加し55億47百万円となりました。これは主に、株式会社SUNTACを連結の範囲から除外したことにより買掛金等が3億67百万円、短期借入金が6億21百万円、未払法人税等が70百万円減少し、一方で1年内返済予定の長期借入金が7億34百万円及びソーシャルレンディングにおける匿名組合預り金が13億19百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して46億45百万円増加し226億77百万円となりました。これは主に、長期借入金が43億17百万円、新規賃貸借契約により預り保証金が3億6百万円増加したことなどによります。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して56億9百万円増加し282億25百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1億80百万円増加し140億60百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による自己株式5億47百万円の増加及び株主配当2億17百万円によって純資産が減少し、一方で親会社株主に帰属する四半期純利益7億88百万円を計上し、新株予約権の行使により資本金が82百万円、資本剰余金が82百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、2021年11月10日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,807,005	1,174,955
信託預金	177,678	146,339
受取手形及び売掛金	307,658	97
営業貸付金	3,287,174	6,126,208
商品及び製品	151,790	—
原材料	20,736	—
仕掛品	5,524	—
仕掛販売用不動産	1,393,000	1,841,340
未収入金	3,652	1,161
未収収益	32,900	93,929
未収消費税等	10,718	120,784
未収還付法人税等	138,832	137,390
その他	205,565	64,141
貸倒引当金	△440	—
流動資産合計	7,541,798	9,706,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,876,536	4,468,739
信託建物(純額)	2,720,479	2,630,689
機械及び装置(純額)	1,895	—
工具、器具及び備品(純額)	124,824	13,294
土地	17,073,474	19,328,812
信託土地	5,363,184	5,363,184
有形固定資産合計	28,160,394	31,804,720
無形固定資産		
特許権	—	105,597
借地権	—	3,400
ソフトウェア	18,859	19,487
電話加入権	284	284
のれん	5,807	—
無形固定資産合計	24,950	128,769
投資その他の資産		
投資有価証券	153,097	171,615
破産更生債権等	171,730	171,730
長期未収入金	87,546	90,938
差入保証金	35,833	38,263
長期前払費用	255,378	241,675
繰延税金資産	217,706	80,526
その他	103,571	113,335
貸倒引当金	△259,277	△262,669
投資その他の資産合計	765,588	645,416
固定資産合計	28,950,933	32,578,905
繰延資産		
株式交付費	2,997	0
繰延資産合計	2,997	0
資産合計	36,495,729	42,285,252

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,998	—
短期借入金	1,474,000	852,226
1年内返済予定の長期借入金	1,303,468	2,038,204
未払法人税等	182,294	112,059
前受金	148,726	179,057
信託前受金	18,921	18,921
匿名組合預り金	939,875	2,258,931
その他	338,329	88,472
流動負債合計	4,583,614	5,547,872
固定負債		
長期借入金	16,696,494	21,014,010
長期預り保証金	1,228,818	1,535,626
信託預り保証金	106,592	106,592
資産除去債務	—	20,902
その他	119	11
固定負債合計	18,032,025	22,677,144
負債合計	22,615,640	28,225,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,860	6,444,638
資本剰余金	7,525,100	7,607,878
利益剰余金	562,248	1,132,870
自己株式	△553,734	△1,100,818
株主資本合計	13,895,474	14,084,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67,813	△70,273
その他の包括利益累計額合計	△67,813	△70,273
新株予約権	52,428	45,940
純資産合計	13,880,089	14,060,235
負債純資産合計	36,495,729	42,285,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	1,762,658	2,064,084
売上原価	402,373	458,430
売上総利益	1,360,285	1,605,654
販売費及び一般管理費	490,646	372,813
営業利益	869,638	1,232,840
営業外収益		
受取利息	76	761
受取配当金	5,026	3,657
受取賃貸料	4,888	4,950
貸倒引当金戻入額	4,214	—
持分法による投資利益	10,012	—
その他	2,617	12,586
営業外収益合計	26,837	21,954
営業外費用		
支払利息	321,937	408,561
賃貸不動産経費	1,110	1,037
為替差損	4,236	—
借入手数料	49,821	43,572
株式交付費償却	2,997	2,997
その他	570	3,392
営業外費用合計	380,673	459,561
経常利益	515,802	795,234
特別利益		
固定資産売却益	428,031	445,445
特別利益合計	428,031	445,445
特別損失		
関係会社株式売却損	—	26,902
固定資産売却損	—	19,151
段階取得に係る差損	10,012	—
その他	—	229
特別損失合計	10,012	46,284
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	933,820	1,194,395
匿名組合損益分配額	12,549	66,796
税金等調整前四半期純利益	921,271	1,127,598
法人税、住民税及び事業税	164,512	207,041
法人税等調整額	△40,848	132,166
法人税等合計	123,664	339,207
四半期純利益	797,606	788,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	797,551	788,391

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	797,606	788,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,240	△2,460
その他の包括利益合計	2,240	△2,460
四半期包括利益	799,847	785,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	799,791	785,930
非支配株主に係る四半期包括利益	55	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社である株式会社SUNTACの株式の100%を売却しております。これに伴い、同社を連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、収益認識会計基準等の適用による損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

第3回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,204,872千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,566,134千円となっております。

第3回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、資本準備金が1,204,872千円増加したこと等により、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,203,877千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が6,729,373千円となっております。

また、2019年8月9日開催の取締役会決議等に基づき、自己株式511,700株の取得を行っていましたが、取得期間の終了により、2020年8月11日開催の取締役会決議に基づき、引続き自己株式506,400株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が206,166千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が405,171千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 配当に関する事項

①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年5月7日 取締役会	普通株式	利益剰余金	217,769	2.00	2021年3月31日	2021年6月14日

②基準日が第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式411,400株の取得を行っていましたが、取得期間の終了により、2021年8月13日開催の取締役会決議に基づき、引続き自己株式2,645,900株の取得を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が547,084千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,100,818千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貸金 事業	不動産 賃貸事業	アミューズ メントサー ビス機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	210,630	1,298,746	238,997	1,748,374	14,284	1,762,658	—	1,762,658
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	210,630	1,298,746	238,997	1,748,374	14,284	1,762,658	—	1,762,658
セグメント利益	145,840	452,021	10,373	608,235	905	609,140	△93,338	515,802

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、レンタル事業、アドバイザー契約に関する成功報酬並びにそれらに帰属する売上原価及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△93,338千円は、内部取引消去額141,236千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△234,574千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、株式会社SUNTACが連結子会社になったことに伴い「アミューズメントサービス機器関連事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	403,306	1,598,136	2,001,442	62,641	2,064,084	—	2,064,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	403,306	1,598,136	2,001,442	62,641	2,064,084	—	2,064,084
セグメント利益又は損 失(△)	330,611	596,363	926,974	△17,199	909,775	△114,540	795,234

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業、レンタル事業、知的財産関連事業、電子部品のブランド使用料並びに中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△114,540千円は、内部取引消去額167,636千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△282,177千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、株式会社SUNTACを連結子会社から除外したことに伴い「アミューズメントサービス機器関連事業」を報告セグメントから除外しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計		
顧客との契約から生じる収益	—	—	—	513	513
その他の収益(注)2	403,306	1,598,136	2,001,442	62,128	2,063,570
外部顧客への売上高	403,306	1,598,136	2,001,442	62,641	2,064,084

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、知的財産関連事業及び電子部品のブランド使用料であります。

2. その他の収益には、リース取引に関する会計基準及び金融商品に関する会計基準で認識される収益並びに金融商品の組成又は取得に際して受け取る手数料が含まれております。